

協定内容

1 協定締結の目的

連携事項の情報共有や意見交換に努め、取り組む施策などについて緊密に連携を図り、協働することで駅を中心としたまちづくりによって相互の持続的な発展を図る。

2 ねらい

今後、人口減少及び高齢化が予測される中、駅を中心としたまちづくりと地域公共交通ネットワークの整備を推進し、駅周辺の価値向上や暮らしの安全・安心の向上を図ることで、住みやすく便利なまちを目指す。

併せて、豊富な観光資源を活用し、観光誘客による交流人口を増加させ、地域公共交通による回遊性向上を図り、にぎわいのあるまちを目指す。

3 協定の有効期間

連携協定の目的達成に必要な期間として10年間とする。

連携事項

① 駅を拠点としたまちづくりの推進

■ 駅及び駅周辺の魅力向上を図り、駅を結節点とした人が集う魅力的なまちづくりを推進

【主な取組】

- ・ 駅のイメージアップ
駅が拠点となるよう、駅前広場の整備や駐車場、駐輪場及び導線整理の推進
- ・ 駅や駅周辺の価値向上
多くの人が集う場所である駅のポテンシャルを活かした駅前への企業誘致や商業活性化の推進

② 地域の暮らしの安全・安心の向上

■ 子どもから高齢者まで安全で安心して利用できる沿線の構築と暮らしやすさの実現

【主な取組】

- ・ 安全で安心して暮らせる環境の創出
交通渋滞の緩和や周辺道路の安全確保の検討の他、駅施設及び周辺のバリアフリー化や安全対策
- ・ 災害時等のまちと駅の連携
帰宅困難者対策等により、常に安全で安心に暮らせるための取組



4つの柱を軸として
地域(市)と鉄道(JR)
の連携で相互の
持続的成長を図る



③ 観光資源の回遊性向上

■ 地域と駅のむすびつきを強め、観光資源を有効に活用してにぎわいや交流の創出

【主な取組】

- ・ 地域のにぎわいの創出
市内の豊富な観光資源を活用した情報発信や新しい商品開発等により、地域と駅間をつなぎ、回遊によるにぎわいの創出
- ・ 広域回遊による更なる交流人口増
インバウンド観光客にも魅力的な情報発信を行い、広域観光施設と一体となった観光施策の提供

④ 駅を中心とした公共交通機関の利便性向上

■ 駅を中心に公共交通で地域を結ぶことにより、自動車利用から公共交通への転換の推進と持続可能な地域公共交通ネットワークサービスの構築

【主な取組】

- ・ 駅へのアクセス向上につながる取組推進
生活路線バスの増便と駅から観光施設へのシャトルバス運行の検討やパークアンドライドの推進
- ・ 持続可能な二次交通の利便性向上
地域住民のほかインバウンド観光客含めたレンタサイクル、レンタカー含めた交通網の構築